

京都市上海情報拠点レポート(2018年10月・11月分)

1 統計

○訪日旅行者数(中国)

・2018年10月 715,300人(2017年10月 663,815人)(対前年比+7.8%)

・2018年11月 617,300人(2017年11月 567,149人)(対前年比+8.8%)

※出典「日本政府観光局(JNTO)」

○京都市内39ホテル対象宿泊実人数(中国)

・2018年10月 26,622人(2017年10月 25,611人)(対前年比+0.5%)

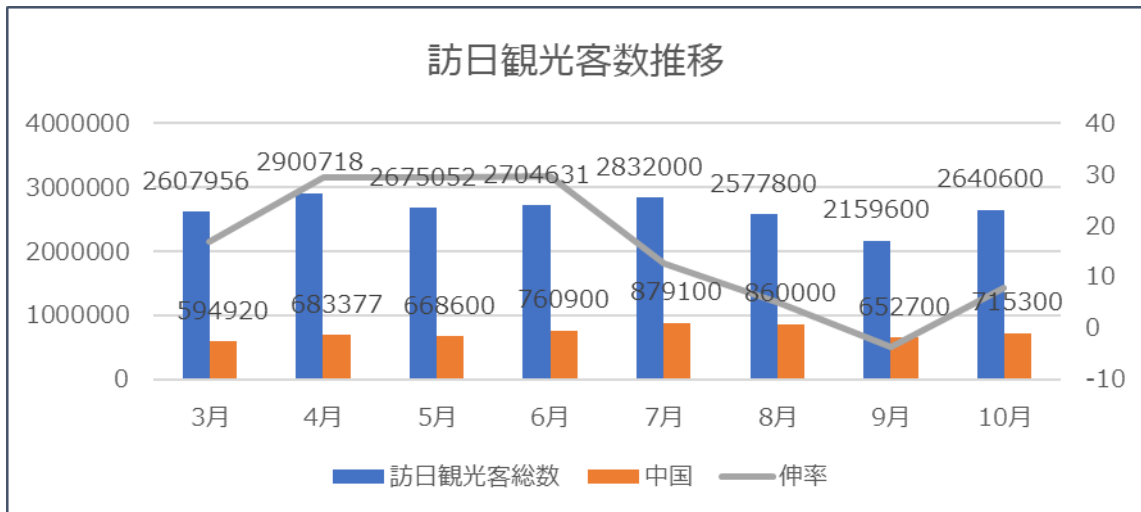
・2018年11月 29,583人(2017年11月 24,099人)(対前年比+15.3%)

※出典 京都市観光協会・京都文化交流コンベンションビューロー「外国人客宿泊状況調査」 ※対前年比は総営業部屋数の差異を補正反映

2 市場動向

旅行業界関連トピックス

■中国からの訪日者数



* 本表での伸率は前年同月比を表しています。

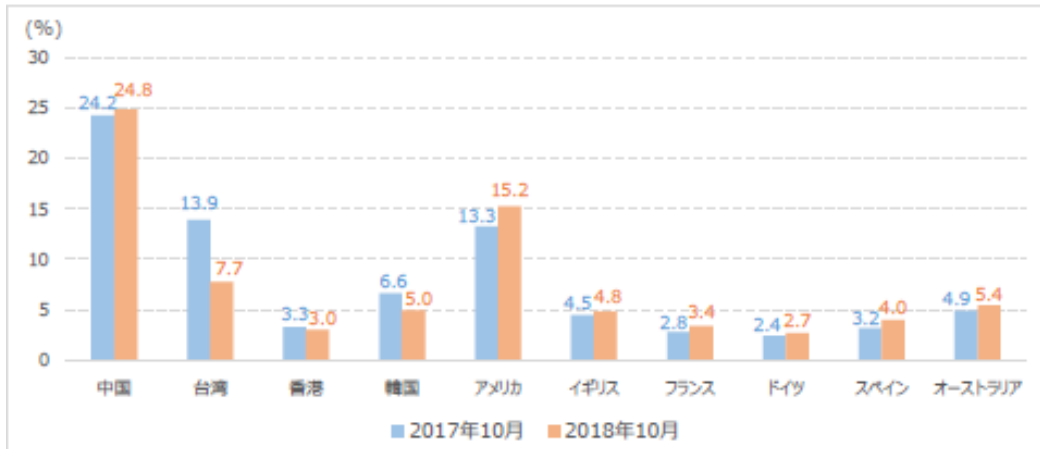
2018年10月の訪日外客数は、前年同月比1.8%増の264万1千人。2017年10月の259万5千人を約4万人上回り、10月として過去最高を記録した。

2018年10月の訪日中国人数は、前年同月比7.8%増の715,300人で、10月として過去最高を記録した。9月は関西空港の閉鎖や北海道胆振東部地震による航空便の欠航のほか、団体旅行のキャンセルや延期が発生したが、10月の訪日旅行への影響は限定的であり、大型連休の影響もあり、個人旅行が全体の訪日需要を牽引した。

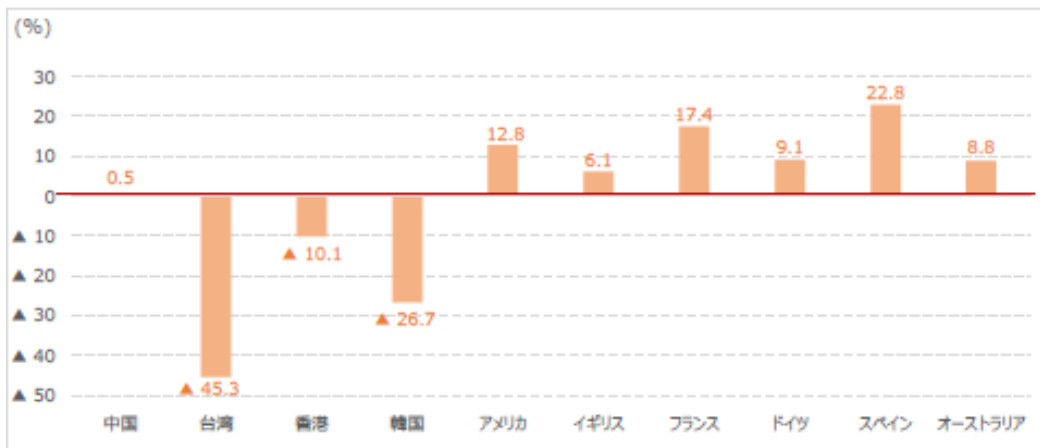
12月12日時点日本政府観光局(JNTO)訪日観光客10月データより引用

■中国からの訪日観光先

京都 41 ホテル・構成比（国・地域別）



京都 41 ホテル・実人数伸率（国・地域別）前年同月比



10月の外国人実人数は前年同月比で2.0%減少したが、台風21号による関西空港閉鎖等により同6.2%減少した9月より、減少幅は改善。中国は前年同月差0.6ポイント増の24.8%で、16ヶ月連続で1位となった。国慶節による中国人観光客の増加が期待されたが、中国の実人数は同0.5%増に留まった。

公益社団法人 京都市観光協会「平成30年(2018年)10月の外国人客宿泊状況調査」より引用

日本観光イベントトピックス

■10-11月の市場動向トピックス

中国は、前年同月比 7.8%増の 715,300 人であり、10 月として過去最高を記録。台風第 21 号や北海道胆振東部地震等の自然災害の影響による訪日需要の減退は限定的であり、個人旅行が全体の訪日需要を牽引した。(JNTO 訪日観光客データより引用)

■10-11月の主なプロモーション活動

11 月 16 日から 18 日間、中国上海ニューインターナショナルエキスポセンターにて中国国際旅行博覧会 (CITM) が開催された。今回は世界各地及び中国 31 地域、地方自治地域、直轄市と香港、マカオ、台湾地域の旅行機構、旅行社、飲食会社、航空会社、その他旅行関連企業が参加された。日本からも自治体や旅行会社が多数参加された。特に、今回の博覧会で中国の大手旅行会社 C-trip は横浜市と戦略協定を結ぶことが決定され、中国国内でも大々的に報じられた。

(JNTO 訪日観光客データより引用)



日本観光関係トピックス



11 月 27 日、LINE はグローバルでのキャッシュレス決済の取り組みで、中国 Tencent との連携を発表。同社が展開する中国最大のキャッシュレス決済サービス「WeChat Pay」と LINE Pay の接続を 2019 年早期に開始。中国からのインバウンドニーズもカバーできるようになり、1 つの QR コードで国内外の決済に対応できるキャッシュレスサービスとなった。インバウンドでのキャッシュレス決済は、ソフトバンクとヤフーのジョイントベンチャーである PayPay も、Ali Pay との連携を発表している。中国二強のキャッシュレスサービスとの連携により、インバウンド方面からも国内キャッシュレス決済の浸透が活発化しそうだ。